



# Tegaki コネクタ

ユーザーガイド

版 1.0



## 目次

概要 .....	1
なぜ、Tegaki コネクタが必要か .....	1
Tegaki コネクタのメリット .....	1
Tegaki コネクタを構成する .....	1
前提条件 .....	1
構成手順 .....	2
稼働確認 .....	2
オブジェクトの入力 .....	2
オブジェクトの出力 .....	3
全体の動き .....	3
拡張について .....	3
拡張の考え方 .....	3
拡張のポイント .....	4



## 概要

### なぜ、Tegaki コネクタが必要か

AI-OCR エンジンとして名高い Cogent Labs 社の Tegaki を Blue Prism から利用するには、Tegaki の UI または Web API を操作する必要があります。いずれを用いるにせよ、前処理（ファイル読込など）や後処理（読み取り結果の構造化など）は必要となるため、Blue Prism のオブジェクト（VBO）として Tegaki コネクタを開発した。

### Tegaki コネクタのメリット

Blue Prism ユーザーは、このアセットを活用し、またユーザー固有の要件に基づいて拡張をすることで、以下のようなメリットを享受できる。

1. Blue Prism と Tegaki を連携させる際に、連携に必要な前処理、後処理にかかる開発工数・時間を削減できる
2. Blue Prism と Tegaki を連携させる際のユースケースに応じて、開発済みの部品を拡張できる
3. Blue Prism から REST API を呼ぶ際に必要な、基本的な処理を学習できる

## Tegaki コネクタを構成する

### 前提条件

1. Blue Prism 6.8 で構成されたエンタープライズ RPA 環境<sup>1</sup>
2. Tegaki 環境および Web API でアクセスするための API キー<sup>2</sup>
3. 以下のオブジェクト（VBO）。すべて Blue Prism DX  
(<https://digitalexchange.blueprism.com/dx/search>) から入手可能
  - A) Base64Encoder
  - B) Utility – General
  - C) Utility – JSON
  - D) Utility – Blue Prism Process Info

---

<sup>1</sup> 6.8 で動作確認をしているが、基本的な構造は 6.4 以降の機能で構成されているため、6.4 以降であれば多少の修正で動くことが見込める

<sup>2</sup> Tegaki の API は v2 を前提としている

## E) Utility – File Management

### 構成手順

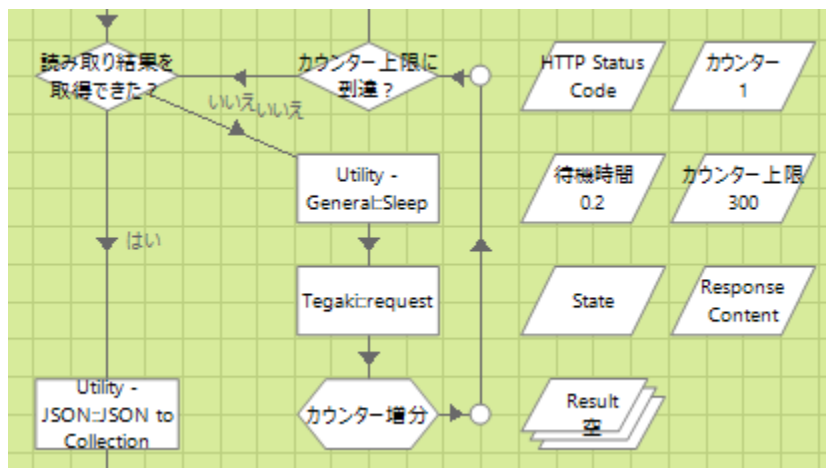
#### bprelease のインポート

Tegaki コネクタ v1.0.bprelease を Blue Prism にインポートする。

#### 認証情報の設定

認証情報「Tegaki API key」のトークンに Tegaki の api key の値を設定し、適切な権限付与を行う。

#### チューニング



データアイテム「待機時間」と「カウンター上限」を使って、画像アップロード後の Tegaki の処理完了を待っている。「待機時間」は Tegaki に処理完了を問い合わせる間隔で、カウンター上限は問合せ回数の上限を意味している。環境に合わせて、これらの値を調整できる。

### 稼働確認

#### オブジェクトの入力

Tegaki コネクタの入力は 2 項目ある。

#	項目名	型	概要
1	画像イメージのファイルパス	テキスト	画像イメージのファイルパス (フルパス)
2	テンプレート JSON のファイルパス	テキスト	テンプレート JSON のファイルパス (フルパス)

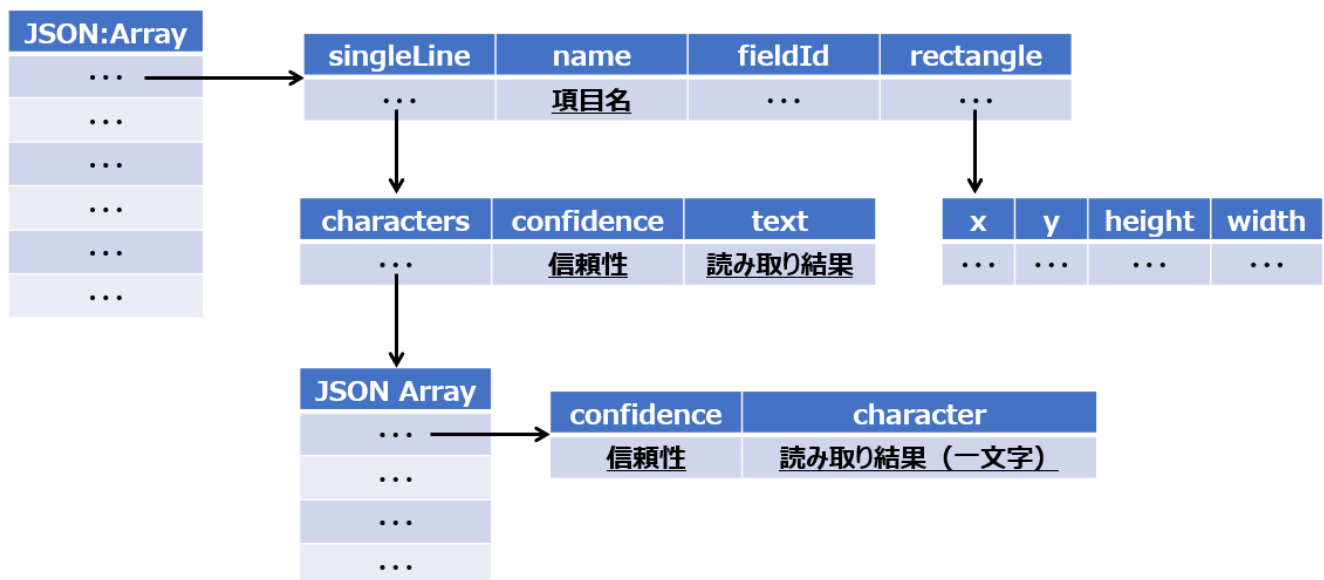
適当なプロセスを作成し、項目に適切な値を設定する。

## オブジェクトの出力

Tegaki コネクタの出力は 2 項目ある。

#	項目名	型	概要
1	読み取り結果 (コレクション)	コレクション	読み取り結果 (構造体)
2	読み取り結果 (テキスト)	テキスト	読み取り結果 (JSON 形式のテキスト)

コレクションの構造体は以下のようにになっている。



## 全体の動き

全体の動きは、デモ動画を参照。

[https://www.youtube.com/watch?v=o\\_KJZxu5ACY](https://www.youtube.com/watch?v=o_KJZxu5ACY)

## 拡張について

### 拡張の考え方

大きく分けて 2 つの方向性が考えられる。

1. Tegaki コネクタそのものの精度向上
2. Tegaki コネクタへの機能追加

## 拡張のポイント

主な拡張のポイントは以下である。

1. request アクションの結果の State に応じた処理の追加
2. より多くの API への対応

以上